



ちゅうりっぷ組だより

(2月号)

平成29年12月20日

担当: 吉田
とまわ保育園



冷たい風が吹き、冬本番となりました。

先日はおゆうぎ発表会にご観覧いただき、ありがとうございました。保育室内で「ニコニコ」と練習を楽しんでいた子ども達が、本番でも頑張る姿が目に焼きついていきます。

舞台上に立つという経験を今後役に立てていけたらと思います。

さて、最近では製作に興味津々でとても積極的です。

先日雪だるまの製作を行ない、台紙にクレヨンでお絵描きをすると、力強くバクさんの線を描いていました。

保育者がおしまいの合図をすると、「も、とやるの!!」と訴え、クレヨンをはがなが離さず夢中になっている様子が見られました。

以前までは時折泣いてしまうこともあったので、成長を感じ、嬉しくなります。

スズメの観察もブームになりつつあります。窓からテラスの方に飛ぶスズメを見つけると「チョンチョン!」と教えてくれます。

誰かが見つけると、何人かで集まって指を差しし、興味を示している子ども達。月齢の低い子は「スズメってなに?」と一生懸命友だちの見ているものを見つめようとまごまごしている様子が可愛らしいです。

今後も子ども達が様々な経験をし、興味・関心を持って成長していけるよう、働き掛けていきたいと思います。

